

子どもたちの「生きる力」や
「人を思いやる豊かなこころ」を育てるために、

青少年赤十字(JRC)

をご活用下さい。



青少年赤十字では、子どもたちに「自主自律」の精神を育むことを目指し、気づきを待つ指導者の「待ちの姿勢」や「合図(号令)のない生活」を大切に、先を見越した行動を習慣づける先見性を育て、「ボランティア・サービス(V・S)方式」による問題解決の手法を取り入れています。V・Sとは、周囲の様々な問題に気づき、自ら進んで人のために役立つとする具体的な活動です。これらの教育手法は、先生の指導のもとで生かされ、子どもたちの生きる力を育てるために役立ちます。

気づき 考え 実行する
JUNIOR RED CROSS



青少年赤十字 (Junior Red Cross)とは

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神（ ）に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

日本赤十字社では、青少年赤十字加盟校に対して、その活動に必要な知識、技術、資料及び赤十字の組織を利用する機会を提供しています。また、これらの加盟校（幼・保・小・中・高・特支）では、赤十字の組織や機能を通じ、国内ばかりでなく、世界各国の青少年赤十字加盟校と交流をもつこともでき、学校教育を推進するうえでよい教材となります。是非身近な「人道」について考える際に、青少年赤十字をご活用ください。



中国青少年赤十字メンバーとの国際交流
(高等学校)

赤十字の精神というのは、本来、誰の心の中にもある「苦しんでいる人や極貧の生活を送っている人を見たら何とかしなくてはならない」という気持ちを発展させ、人間が人間らしく生活を送るために、自分自身が存在する場所や時に応じて、できることに精一杯取り組むというものです。

青少年赤十字の特徴は

幼稚園・保育園や学校に組織されています。

青少年赤十字は、幼稚園・保育園、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、幼稚園・保育園、学校の先生が指導者となります。

園や学校は、それぞれの保育・教育方針に基づいて自主的に青少年赤十字を採用し、実態に即して計画、実践することになっています。

何を実践するかは園や学校の自由裁量です。

日本赤十字社では、青少年赤十字の活動のための資料提供、赤十字の全国的・国際的組織を活用した便宜供与等の支援を行いますが、指示や通達によって学校内の組織を拘束することは一切ありません。

日本赤十字社が提供する資料をどのように活用するかは、あくまでも園や学校が自主的に判断します。

青少年赤十字は世界的な組織です。

世界の187カ国の国々に同じ理想を掲げ、実践している姉妹赤十字社の組織がありますので、国内の学校やメンバー間はもちろん、姉妹社の青少年赤十字メンバー同士の交流も行われています。

国内にも多くの仲間がいます。

現在、国内には約1万3千校に約289万人、県内には238校に約6万2千人の青少年赤十字に加盟しているメンバーがいます。(平成23年3月末現在)

リーダーシップ・トレーニング・センター等を通じて県内のメンバーと交流することができます。



リーダーシップ・トレーニング・センター
(小学校)



リーダーシップ・トレーニング・センター
(中学校)

青少年赤十字活動をする上での具体的目標は

態度目標「気づき」「考え」「実行する」

自ら課題に「気づき」、その原因や解決のための道筋を「考え」、問題解決のために「実行する」ことは、青少年赤十字が大切にしてきた子どもたちの望ましい「態度目標」です。これはいついかなる場合にも人間として必要な基本的な生活態度、すなわち、「生きる力」であるといえるでしょう。

実践目標

「健康・安全」... 生命と健康を大切にする。

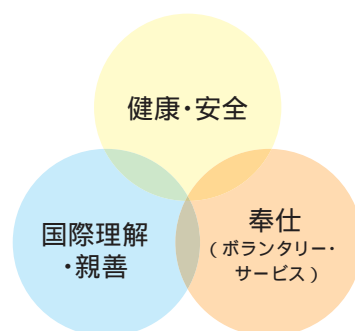
人間の生命はもっとも大切なものです。かけがえのない生命を守るために自分とみんなの健康を大切に、人間尊重の心を育てます。

「奉仕(ボランティア・サービス)」... 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する。

私たちは社会の一員として生きています。お互いが助け合い協力し合う心をもって、自分が他の人のため何が出来か考え行動します。

「国際理解・親善」... 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

同じ地球に暮らす仲間として、外国の人々やその国のことを正しく理解して、交流を深め仲良く助け合います。



小・中学校合同でのゴミ拾い



ボランティア花植え



今すぐ始められる身近な活動「一円玉募金」

日本赤十字社では、青少年赤十字教育等支援事業として、青少年赤十字メンバーが集めた一円玉募金（青少年赤十字活動資金）を活用してアジア三カ国（バングラデシュ、モンゴル、ネパール）の教育・衛生環境の改善、青少年赤十字・赤新月メンバーの活動支援などに取り組んでいます。

子どもたちが日頃のお小遣いを儉約し、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために募金活動をすることによって「奉仕」の心を学び、その国の文化や生活に関心を持ち、自ら調べることで「国際理解・親善」を進めます。開発途上国の子どもたちを取り巻く環境、衛生等の様々な問題を知り、自分たちの身の回りの環境と比較して「健康・安全」の大切さを理解するとともに、支援事業を通じて世界の仲間との連携の心を育むことも目的としています。



ネパールの子どもたちの学習の様子

加盟して
いただくと

学校で計画する各種行事へ職員やボランティアを派遣します。

- ・国内外の災害救護活動や地雷被災者救援、国際人道法についての講演
- ・救急法などの各種講習
- ・点字体験
- ・災害時に行う炊き出し体験

赤十字に関する資料の提供や、学校での総合的な学習の時間のサポートをします。

- ・募金活動などにおける事前学習の資料提供
- ・海外で活動するJRCメンバーとの交流事業
(海外メンバーの学校訪問・ホームステイ、トピックアルバムの交換)
- ・青少年赤十字に関する資料の定期的な送付

青少年赤十字に関する資材の貸し出しや無償配布をします。

- ・地雷模型やパネル、赤十字事業のDVDなど教材
- ・活動時などに着用する青少年赤十字ワッペン、バッジ
- ・学校やクラスで使用するJRC加盟登録用の資材

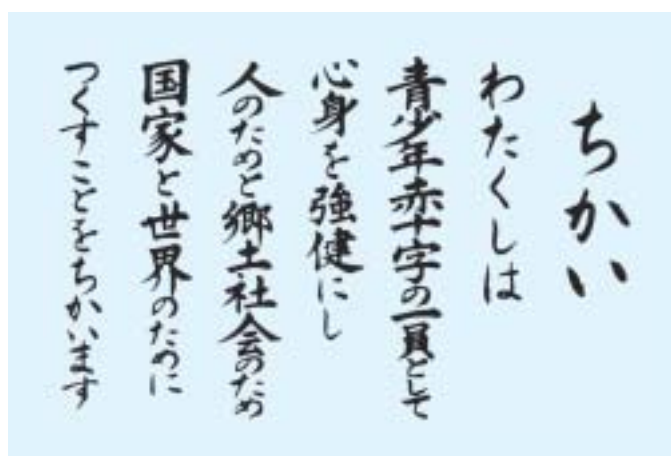
加盟登録に経費は一切生じません。
青少年赤十字事業は、赤十字事業を支援くださる個人・法人からの
寄付金によって賄われています。

登録の更新について

加盟校は、毎年、年度はじめに登録を更新します。学年が変わり、卒業・入学などの変化、学級の編成換えやクラブのメンバーの異動、教員の異動等が生じるため、連絡や資料の配布など事務的に必要となるからです。また「青少年赤十字のメンバー」としての自覚を新たにするためでもあります。



赤十字の創始者
アンリー・デュナン



ご加盟の連絡・お問い合わせは

 **日本赤十字社 富山県支部**
Japanese Red Cross Society

富山市牛島本町2丁目1番38号
TEL 076-441-4885 FAX 076-433-2657
URL <http://toyama.jrc.or.jp>